

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、あなたや他の人々の危害や損害を未然に防止するためのものです。  
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

#### 安全に関する記号 記号の意味

**警告**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。

**注意**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

#### 一般情報に関する記号

**ポイント**

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

**補足**

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

### <施工の前に>

**警告**

- 門扉は人や車が入り出すためのものです。構造によって開閉する方法が異なりますので、設置の場所・目的に合わせて選択してください。

**注意**

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

### <施工上のご注意>

**注意**

- 外開きタイプでは開閉時に扉が公道(道路面)等へ飛び出さない位置に設置してください。
- 施工終了後は扉の開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。
- キャスター付き折戸の場合、キャスター走行面を水平に保ち、水勾配をつけないようにしてください。

# ■梱包明細表

## 【1】折戸本体

名称	略図	員数	
		(1)	(2)
扉本体		1	1
吊元框下キャップ ※ (1)		1	-
吊元框下キャップ ※ (2)		-	1
折戸框下キャップ ※ (1)		1	-
折戸框下キャップ ※ (2)		-	1
【1-1】φ4×10 サラタッピンネジ1種(D=6)		2	2

※扉本体に仮止めしてあります。

## 【2】ロック付落とし棒 (1)のみ

名称	略図	員数
落とし棒本体		1
落とし棒受け		1
【2-1】φ4×10 サラタッピンネジ1種(D=6)		2

※記載の番号は下記機種を示します。

(1) : 開き門扉AB(YR2型・TR2型・YR3型・TR3型・YM2型・TM1型)

(2) : ライシス門扉・開き門扉AB(YR1型・TR1型・YS1型・TS1型・YM1型・TM2型)

## 【3】折戸部品J

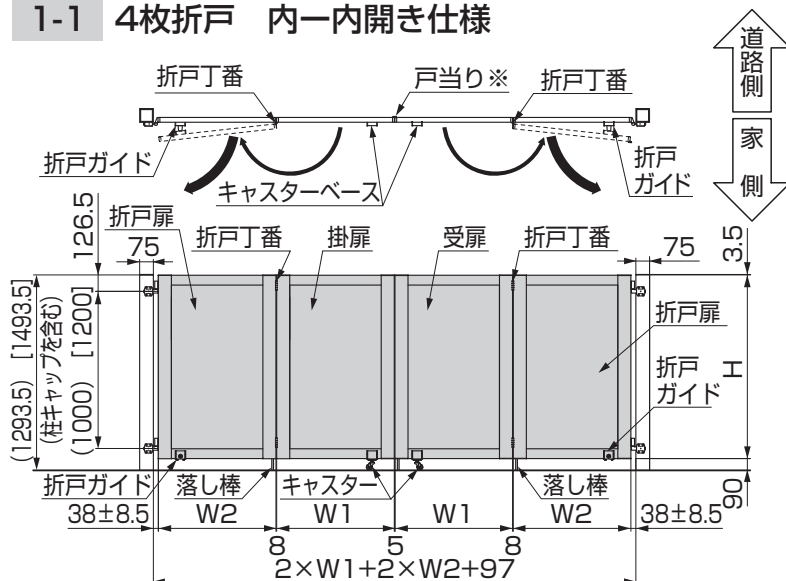
名称	略図	員数
キャスターベース		1
折戸ガイド		1
キャスター		1
キャスター用スパナ		1
キャスターベース裏板		2
折戸丁番		2
折戸丁番裏板		4
落とし棒受け		1
【3-1】M12ナット		1
【3-2】M12平座金		1
【3-3】M12バネ座金		1
【3-4】M6×10座金組込六角ボルト(PW+SW)		4
【3-5】M6×10座金組込六角ボルト(PW+ネジロック付)		2
【3-6】M5×10サラ小ネジ(D=8)		16
【3-7】M6×14座金組込六角ボルト(PW+ネジロック付)		2
取付説明書<A380>	-	1

## 1. 基本寸法図および各部の名称

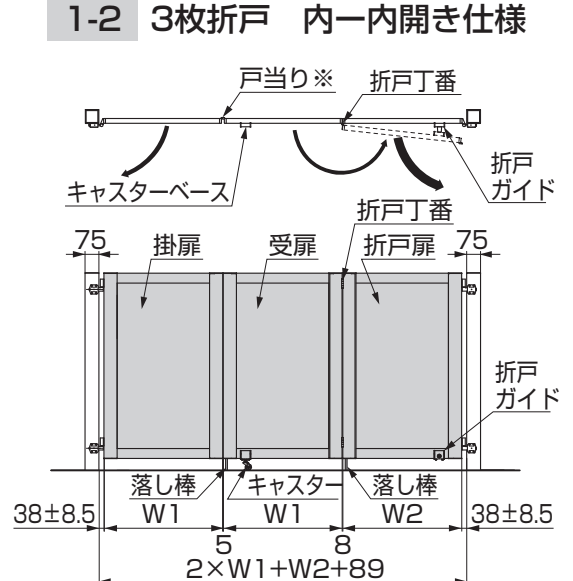
※図は、右勝手の内観図です。

( ) 内寸法はH12、[ ] 内寸法はH14を示します。

### 1-1 4枚折戸 内一内開き仕様



### 1-2 3枚折戸 内一内開き仕様

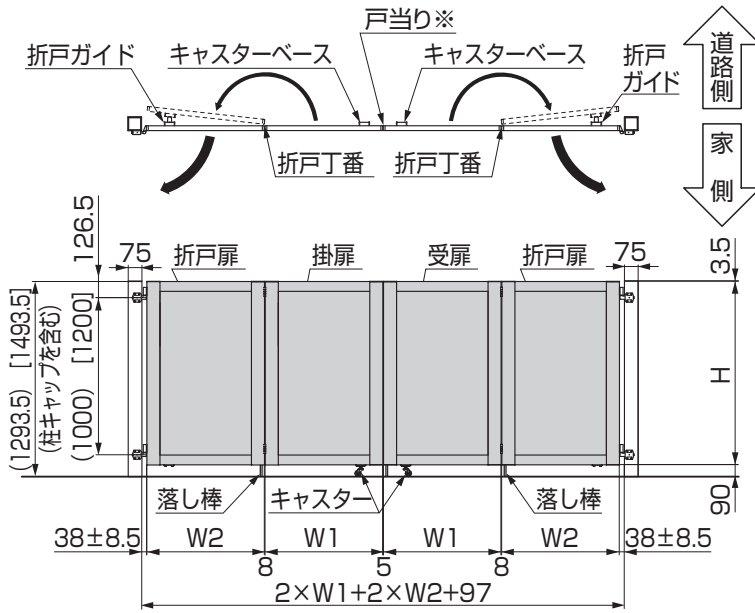


※取付位置は表1-2を参照

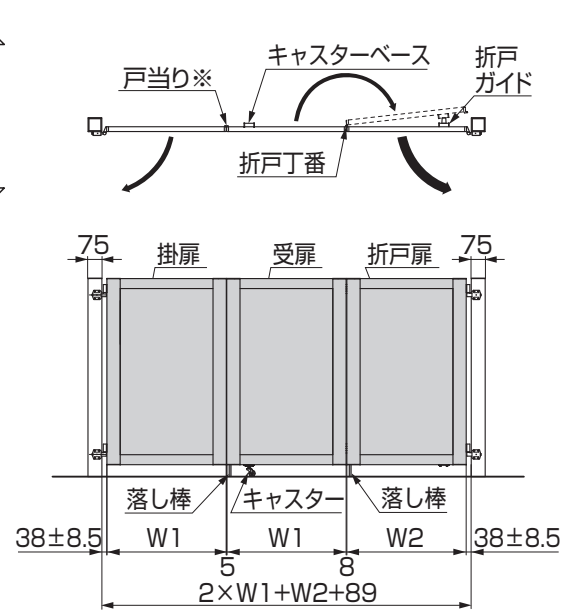
A380\_2019121

# 1. 基本寸法図および各部の名称 つづき

## 1-3 4枚折戸 内一外開き仕様

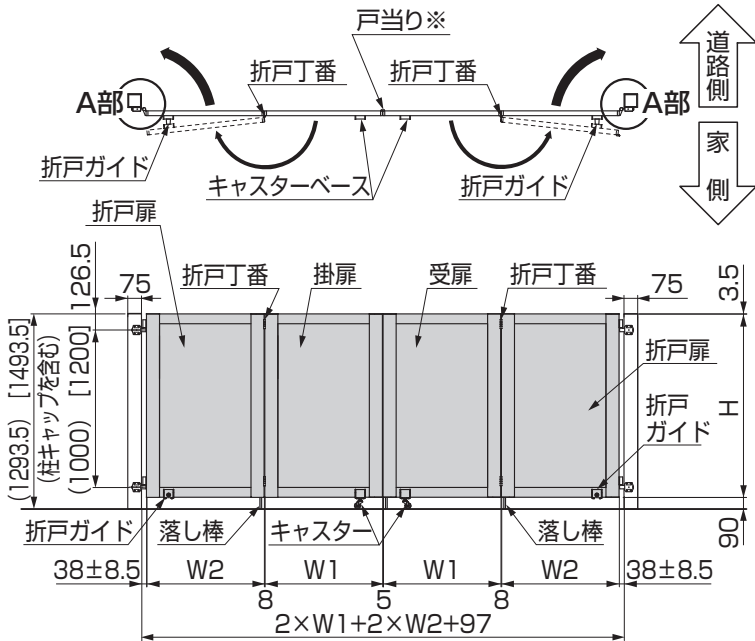


## 1-4 3枚折戸 内一外開き仕様

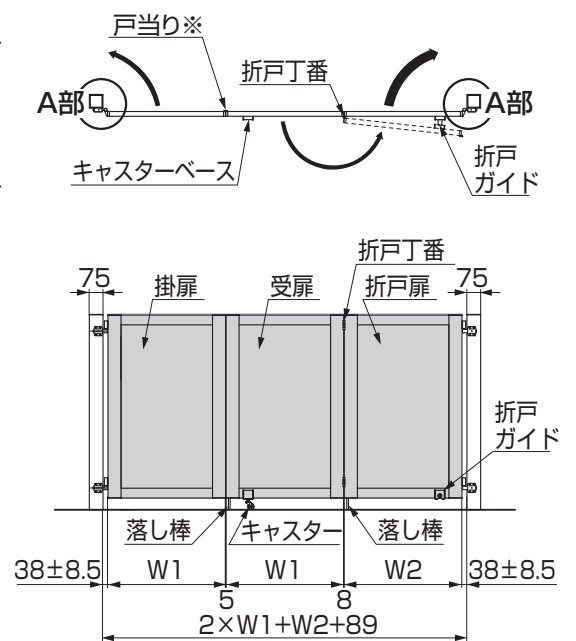


※取付位置は表1-2を参照

## 1-5 4枚折戸 外一内開き仕様



## 1-6 3枚折戸 外一内開き仕様



※取付位置は表1-2を参照

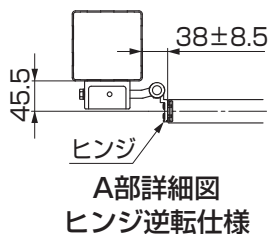


表1-2

	内開き	外開き
(1)	掛け扉・家側	掛け扉・道路側
(2)	受け扉・道路側	掛け扉・道路側

表1-1

	H	(1)		(2)
		W1/W2	W1	W2
07-12	1200	700	700	703.5
08-12	1200	800	800	803.5
09-12	1200	900	900	903.5
08-14	1400	-	800	803.5
09-14	1400	-	900	903.5

### 補足

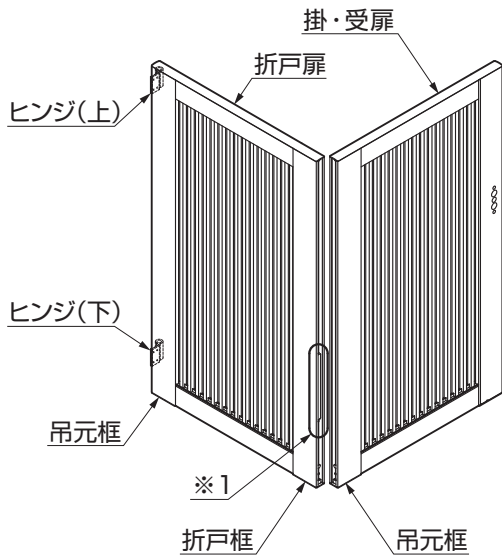
●記載の番号は下記機種を示します。

(1) : 開き門扉AB(YR2型・TR2型・YR3型・TR3型・YM2型・TM1型)

(2) : ライス門扉・開き門扉AB(YR1型・TR1型・YS1型・TS1型・YM1型・TM2型)

## 2. ヒンジ、折戸丁番の取付け

### 2-1 ヒンジの取付け



#### 補足

- 記載の番号は下記機種を示します。  
 (1):開き門扉AB(YR2型・TR2型・YR3型・TR3型・YM2型・TM1型)  
 (2):ライシス門扉・開き門扉AB(YR1型・TR1型・YS1型・TS1型・YM1型・TM2型)

- ①折戸扉の吊元框にヒンジを取付けてください。

#### 補足

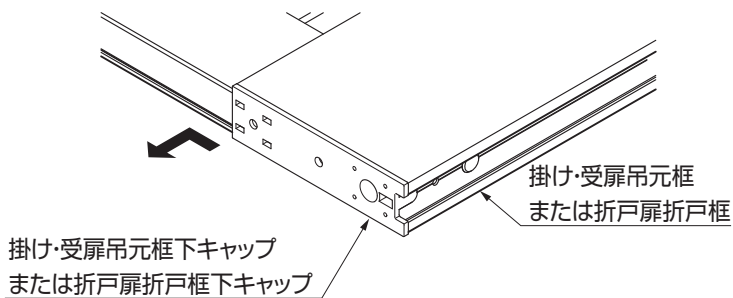
- ヒンジ取付けの詳細は、門扉本体の取付説明書をご参照ください。
- ヒンジは掛・受扉に梱包しています。

#### ポイント

- (1)の折戸框には落し棒取付穴、(2)の折戸框には落し棒が付いています。(※1)それぞれが付いていない框が吊元框です。

### 2-2 吊元框下キャップ、折戸框下キャップの取外し

#### (1) ライシス門扉・開き門扉AB(YR1型・TR1型・YS1型・TS1型・YM1型・TM2型)の場合

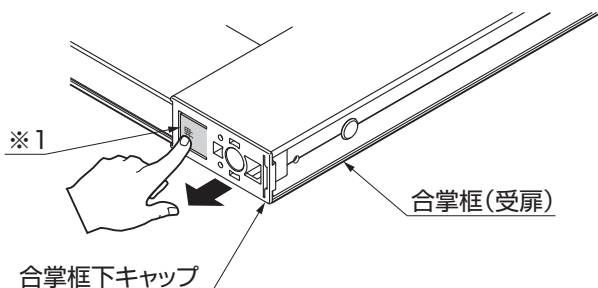


- ①吊元框下キャップをスライドさせて取外してください。

#### 補足

- 吊元框下キャップおよび折戸框下キャップは、仮固定状態で出荷しています。

#### (2) 開き門扉AB(YR2型・TR2型・YR3型・TR3型・YM2型・TM1型)の場合



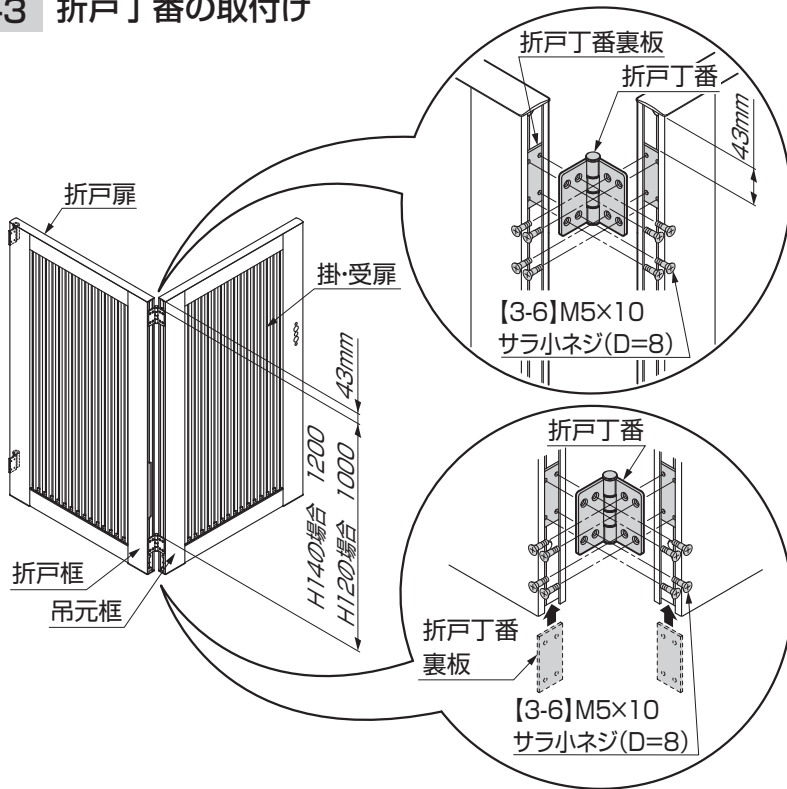
- ①「押」の部分(※1)を押しながら、合掌框下キャップ全体を引き抜き、取外してください。

#### 補足

- 合掌框下キャップは、仮固定状態で梱包しています。

## 2. ヒンジ、折戸丁番の取付け つづき

### 2-3 折戸丁番の取付け

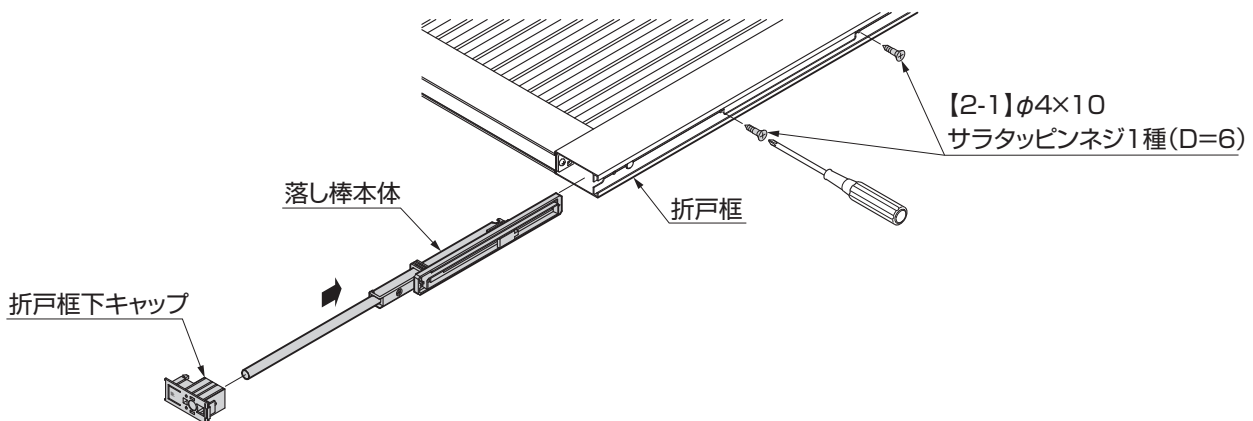


②折戸丁番裏板を、折戸扉折戸框および掛・受扉吊元框の下端からスライドして、折戸丁番を図に示す位置に【3-6】で固定してください。

#### 補足

- ネジの締め付けトルクは、 $2.5\text{N}\cdot\text{m} \pm 0.5\text{N}\cdot\text{m}$  ( $25 \pm 5\text{kgf}\cdot\text{cm}$ ) をお守りください。

## 3. ロック付落とし棒の取付け ※開き門扉AB (YR2型・TR2型・YR3型・TR3型・YM2型・TM1型)のみです。



- ①落とし棒を半分ほど下げた状態にして、落とし棒本体を框内部に挿入し、【2-1】で取付けてください。
- ②受扉の合掌框にも同様に落とし棒本体を取付けてください。

#### 補足

- 落とし棒の操作方法は、門扉本体の取付説明書をご参照ください。
- 受扉への落とし棒本体の取付けは、門扉本体の取付説明書をご参照ください。

#### 注意

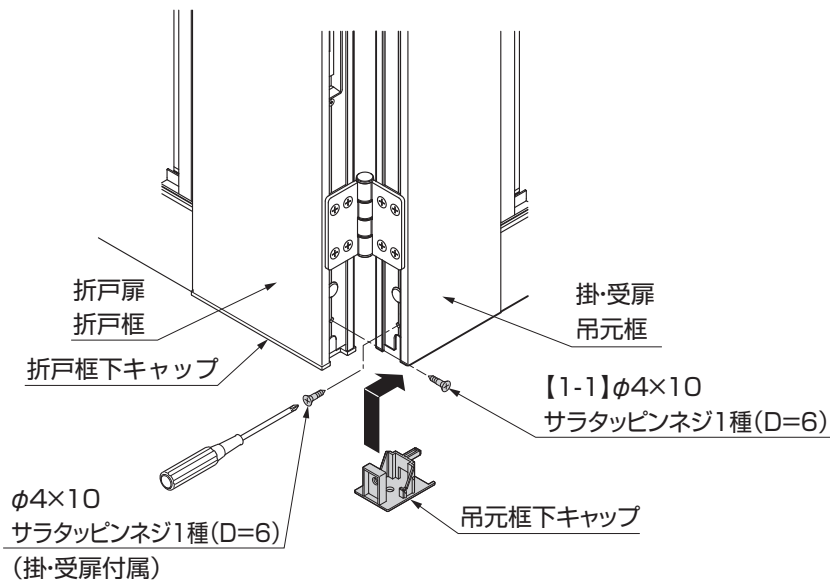
- 取付けの際、型材の小口面でケガをしないように十分注意してください。

#### ポイント

- 落とし棒本体の取付けには、電動ドライバーを使用しないでください。
- ネジの締め付けトルクは、 $1.0\text{N}\cdot\text{m} \pm 0.3\text{N}\cdot\text{m}$  ( $10 \pm 3\text{kgf}\cdot\text{cm}$ ) をお守りください。

## 4. 吊元枠下キャップ、折戸枠下キャップの取付け

### 4-1 開き門扉AB(YR2型・TR2型・YR3型・TR3型・YM2型・TM1型)の場合



- ① 掛・受扉の吊元枠に吊元枠下キャップを、掛・受扉付属のφ4×10サラタッピンネジ1種で取付けてください。
- ② 折戸扉の折戸枠に折戸枠下キャップを、【1-1】で取付けてください。

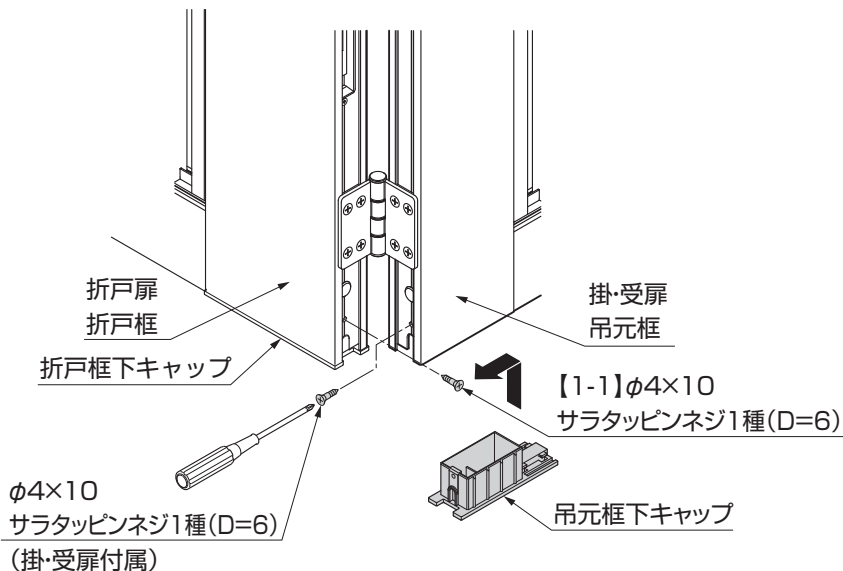
#### 補足

- 受扉に落し棒を取付けた後、門扉本体の取付説明書を参照して、受扉、掛扉の合掌框に合掌框下キャップ同様に取付けてください。

#### ポイント

- キャップの取付けには、電動ドライバーを使用しないでください。
- ネジの締め付けトルクは、1.0N・m±0.3N・m(10±3kgf・cm)をお守りください。

### 4-2 ライス門扉・開き門扉AB(YR1型・TR1型・YS1型・TS1型・YM1型・TM2型)の場合



- ① 掛・受扉の吊元枠に吊元枠下キャップを、掛・受扉付属のφ4×10サラタッピンネジ1種で取付けてください。
- ② 折戸扉の折戸枠に折戸枠下キャップを、【1-1】で取付けてください。

#### ポイント

- キャップの取付けには、電動ドライバーを使用しないでください。
- ネジの締め付けトルクは、1.0N・m±0.3N・m(10±3kgf・cm)をお守りください。



## 5. 折戸キャスターの組立て

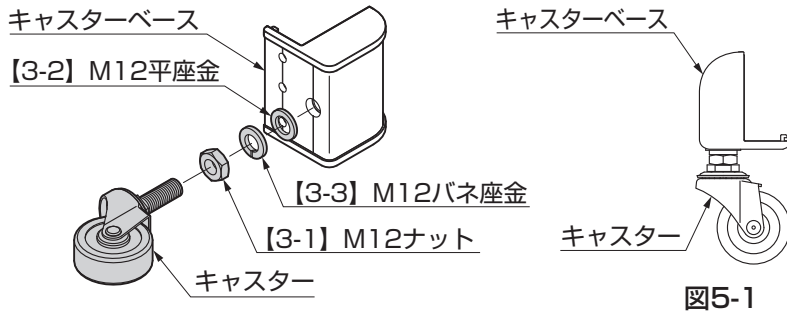


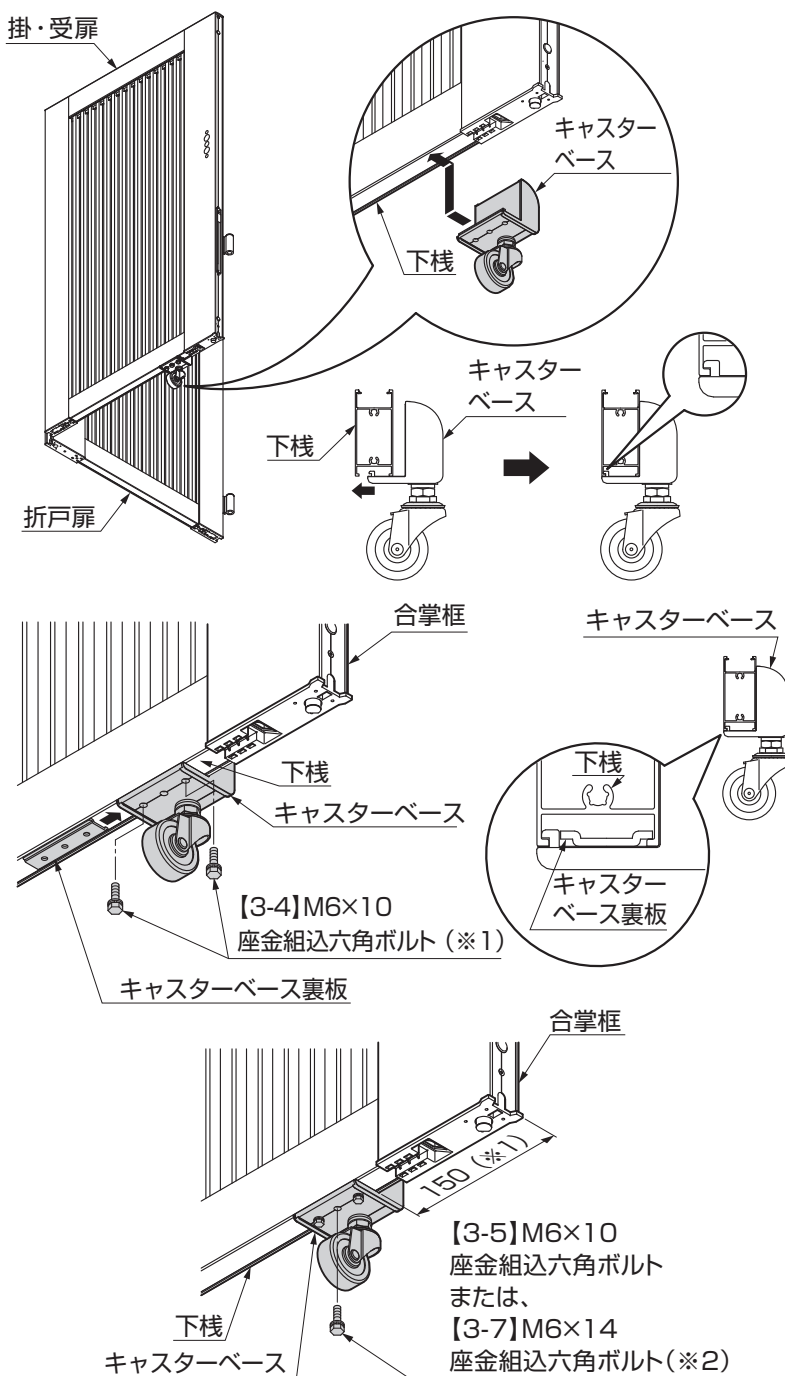
図5-1

①キャスターベースにキャスターを組付けてください。

### 補足

●門扉への取付けをしやすいするため、ここではキャスターをキャスターベースに完全にねじ込んでください。(図5-1参照)

## 6. 折戸キャスターの組付け



### 補足

●記載の番号は下記機種を示します。  
 (1):開き門扉AB(YR2型・TR2型・YR3型・TR3型・YM2型・TM1型)  
 (2):ライシス門扉・開き門扉AB(YR1型・TR1型・YS1型・TS1型・YM1型・TM2型)

①キャスターベースを下棧にはめ込んでください。

②下棧ミゾ部からキャスターベース裏板をスライドさせ、キャスターベースの位置に合わせてください。

③キャスターベースとキャスターベース裏板の両端のネジ穴を【3-4】で固定してください。(※1)

④キャスターベースの中央のネジ穴を(1)の場合は【3-5】で、(2)の場合は【3-7】で固定してください。(※2)

### ポイント

●【3-4】と【3-5】・【3-7】の違いに注意してください。キャスターベースの中央を固定するのがネジロック付の【3-5】または【3-7】です。  
 ●合掌框端部とキャスターベース端部位置150mmが標準です。(※1) 位置調整については、「7.折戸ガイドの組付け」をご覧ください。  
 ●【3-5】または【3-7】を締め込むまではキャスターベースはスライドします。位置を決定した後【3-5】または【3-7】を締め込んで固定してください。  
 ●ネジの締め付けトルクは、5.2N・m±0.5N・m(52±5kgf・cm)をお守りください。

## 7. 折戸ガイドの組付け

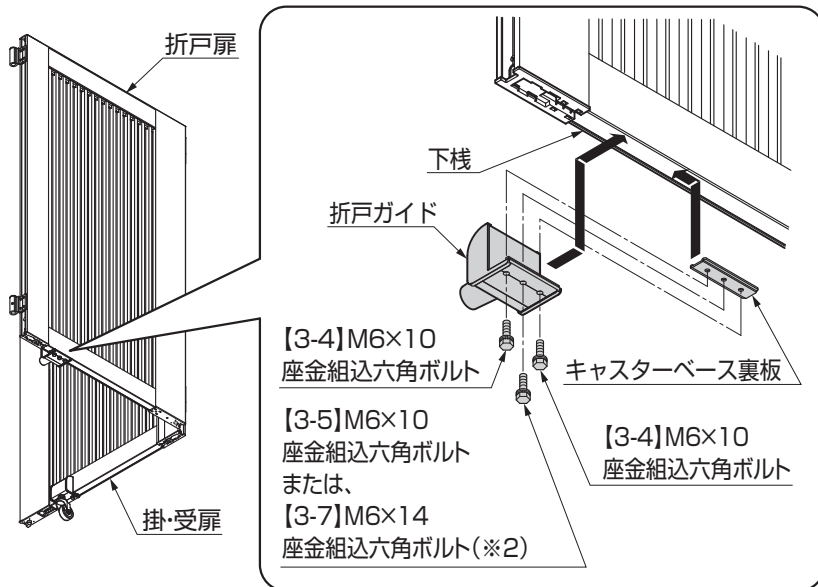
### 補足

●記載の番号は下記機種を示します。

(1) : 開き門扉AB(YR2型・TR2型・YR3型・TR3型・YM2型・TM1型)

(2) : ライス門扉・開き門扉AB(YR1型・TR1型・YS1型・TS1型・YM1型・TM2型)

### 7-1 折戸ガイドの組付け



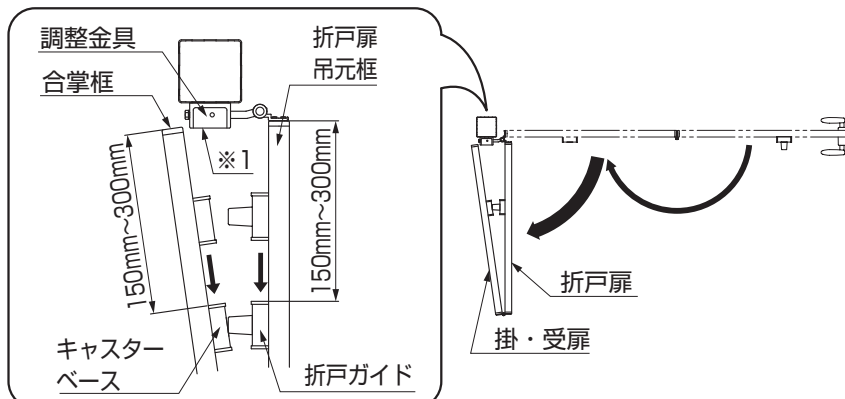
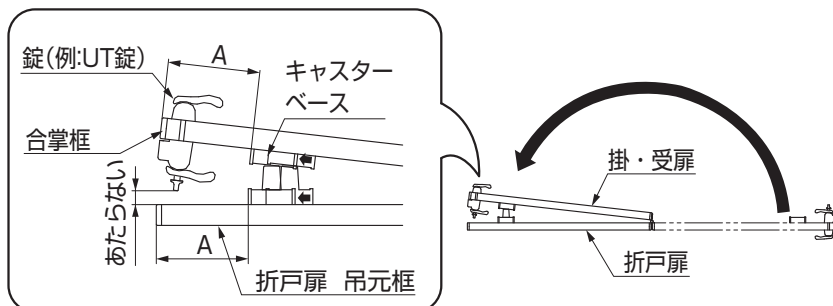
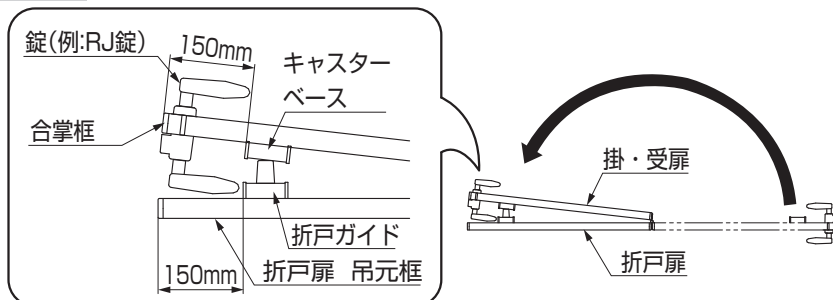
①折戸ガイドをキャスターベースと同様の方法で取付けてください。(1)の場合は【3-5】で、(2)の場合は【3-7】で固定してください。(※2)

### ポイント

●【3-4】と【3-5】・【3-7】の違いに注意してください。キャスターベースの中央を固定するのがネジロック付の【3-5】または【3-7】です。

●ネジの締め付けトルクは、 $5.2\text{N}\cdot\text{m}$  ±  $0.5\text{N}\cdot\text{m}$  ( $52 \pm 5\text{kgf}\cdot\text{cm}$ )をお守りください。

### 7-2 キャスターベース、折戸ガイドの位置調整



### 補足

●合掌框端部とキャスターベース端部の位置および、折戸扉吊元框端部と折戸ガイド端部の位置は150mmが標準です。

●RJ錠以外の錠および内一内開き仕様以外では、表7-1の範囲でキャスターベースおよび折戸ガイドを移動させ取付けることができます。

●キャスターベースと折戸ガイドのA寸法は同一にしてください。(表7-1参照)

表7-1

	A寸法
(1)	101~150
(2)	136~150

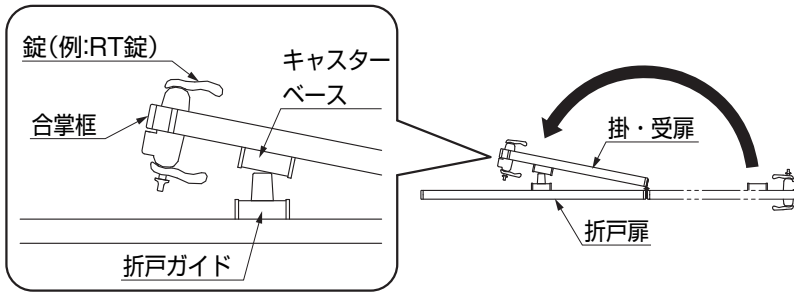
### 補足

●内一内開き仕様で合掌框が調整金具に当たる場合(※1)は、キャスターベースと折戸ガイドの位置を、合掌框が調整金具に当たらない位置になるように調整してください。



## 7. 折戸ガイドの組付け つづき

### 7-2 つづき



#### 補足

- 折戸扉と掛・受扉のサイズが異なる場合は、折戸ガイドの位置をキャスターベース位置に合わせてください。

## 8. その他の取付け1

- ①以下の取付項目は、門扉本体の取付説明書を参照してください。  
・戸当りの取付け・門扉の吊り込み・門扉の調整

## 9. キャスターの調整

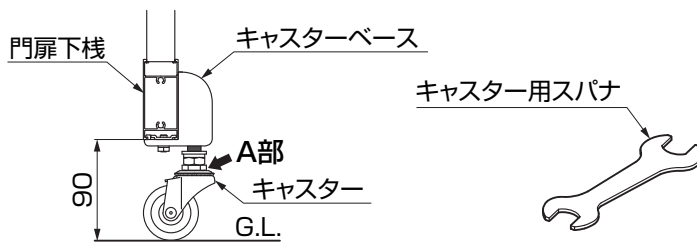
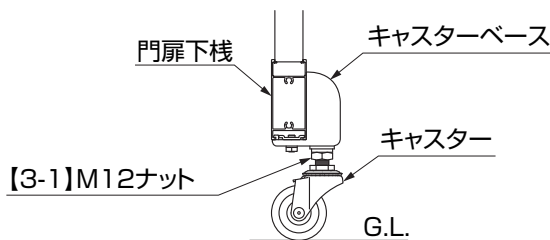


図9-1

図9-2



[3-1]M12ナット

G.L.

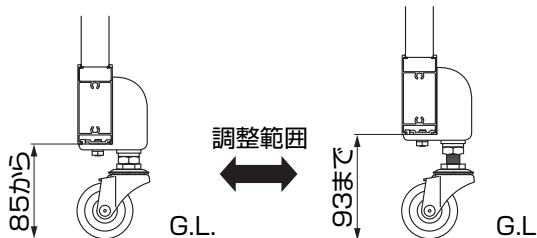


図9-3

- ①門扉を閉めた状態で、キャスターのA部(図9-1参照)を回してキャスターの高さを調整し、キャスターを接地させてください。

#### ポイント

- 門扉下棧とG.L.のすき間は90mmが標準です。すき間の調整は、門扉本体の取付説明書「門扉の調整」をご参照ください。
- A部には付属のキャスター用スパナを使用してください。(図9-2参照)

- ②キャスターが接地した状態で【3-1】を締め込み、キャスターをキャスターベースにしっかりと固定してください。

#### 注意

- キャスターの高さ調整は図9-3の範囲で可能ですが、93mm以上にすると固定力不足で破損のおそれがあります。

## 10. その他の取付け2

- ①以下の取付項目は、門扉本体の取付説明書を参照してください。  
・ヒンジカバーの取付け

# 11. 落とし棒受けの施工 ※図は、内一内開き仕様の場合を示します。

## 11-1 4枚折戸

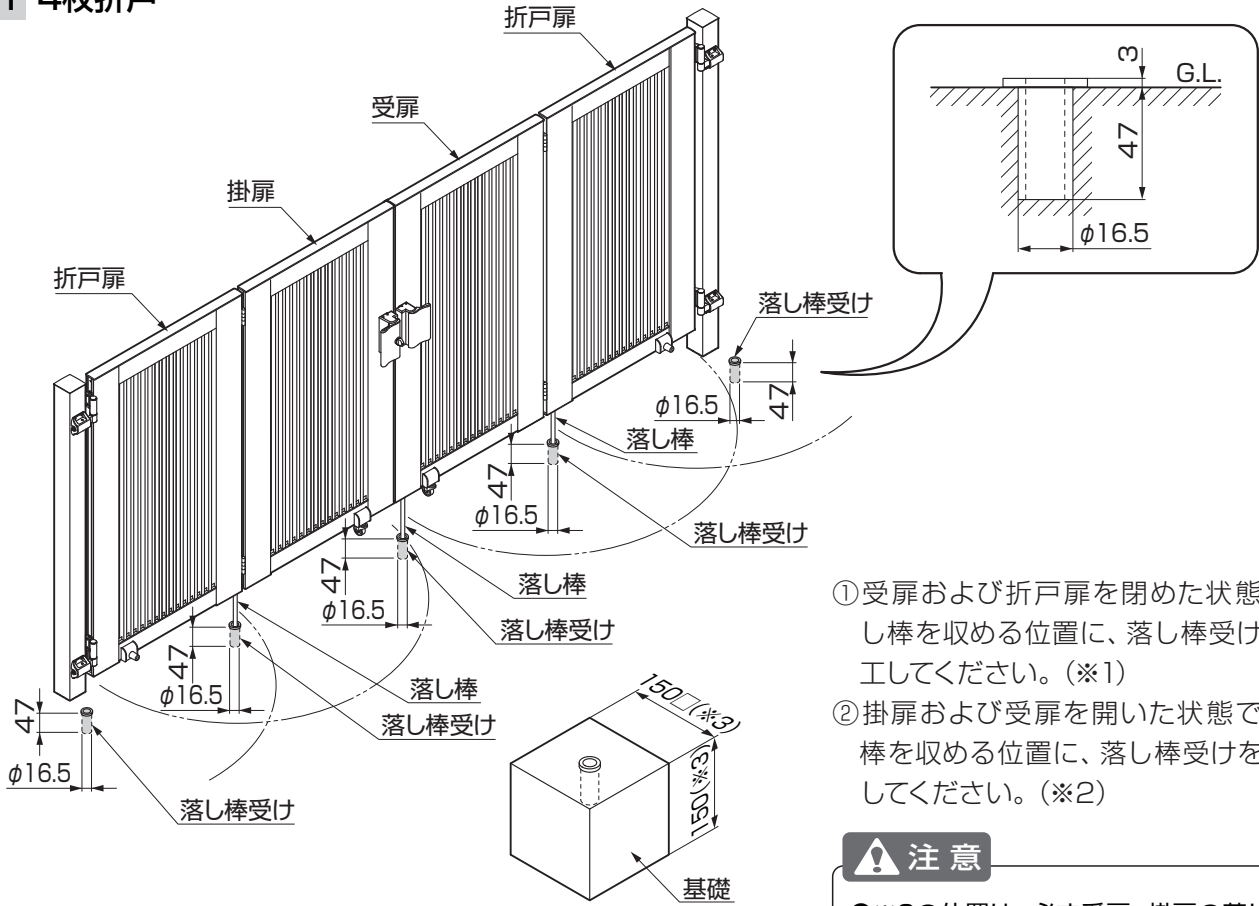
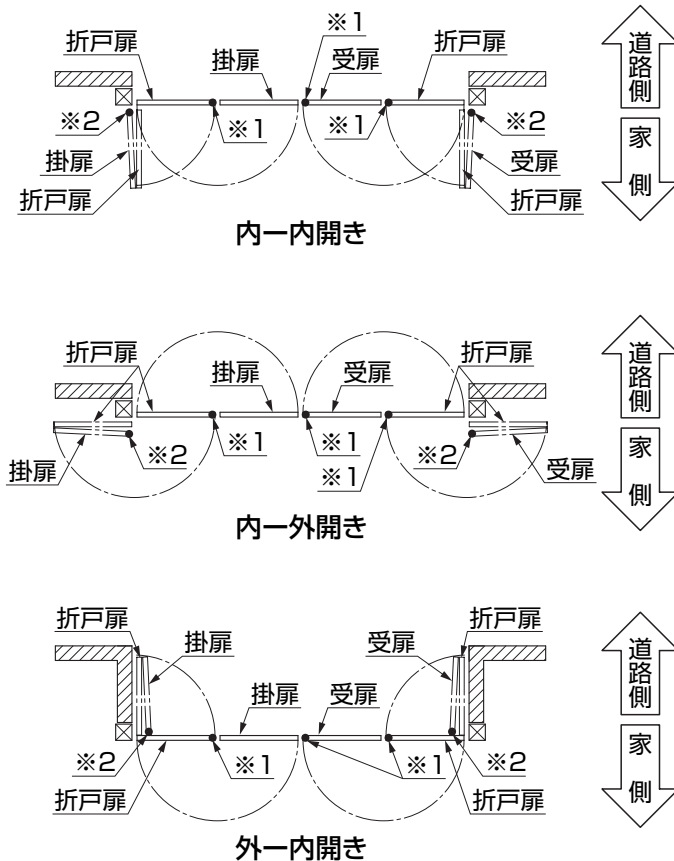


図11-1



- ① 受扉および折戸扉を閉めた状態で落とし棒を収める位置に、落とし棒受けを施工してください。(※1)
- ② 掛扉および受扉を開いた状態で落とし棒を収める位置に、落とし棒受けを施工してください。(※2)

### ⚠ 注意

- ※2の位置は、必ず受扉・掛扉の落とし棒位置に合わせてください。折戸扉の落とし棒位置に合わせてしまうと門扉の固定ができません。

### 🔑 ポイント

- 落とし棒受けの埋込位置は、現場合わせで施工してください。左図の門扉納まりは一例を示します。
- 落とし棒受けはコンクリートに埋込んでください。落とし棒受け埋込位置(※1, ※2)にコンクリートがない場合は、基礎を施工して落とし棒受けを埋込んでください。(図11-1参照)
- 基礎寸法は指定寸法以上にしてください。(※3)

### ✎ 補足

- 落とし棒は框の下面から最大180mmまで下がります。
- 落とし棒の操作方法は、門扉本体の取付説明書を参照してください。
- 全閉時、掛扉下部の落とし棒は落とす必要はありません。(全開時に使用)

# 11. 落とし棒受けの施工 つづき

## 11-2 3枚折戸

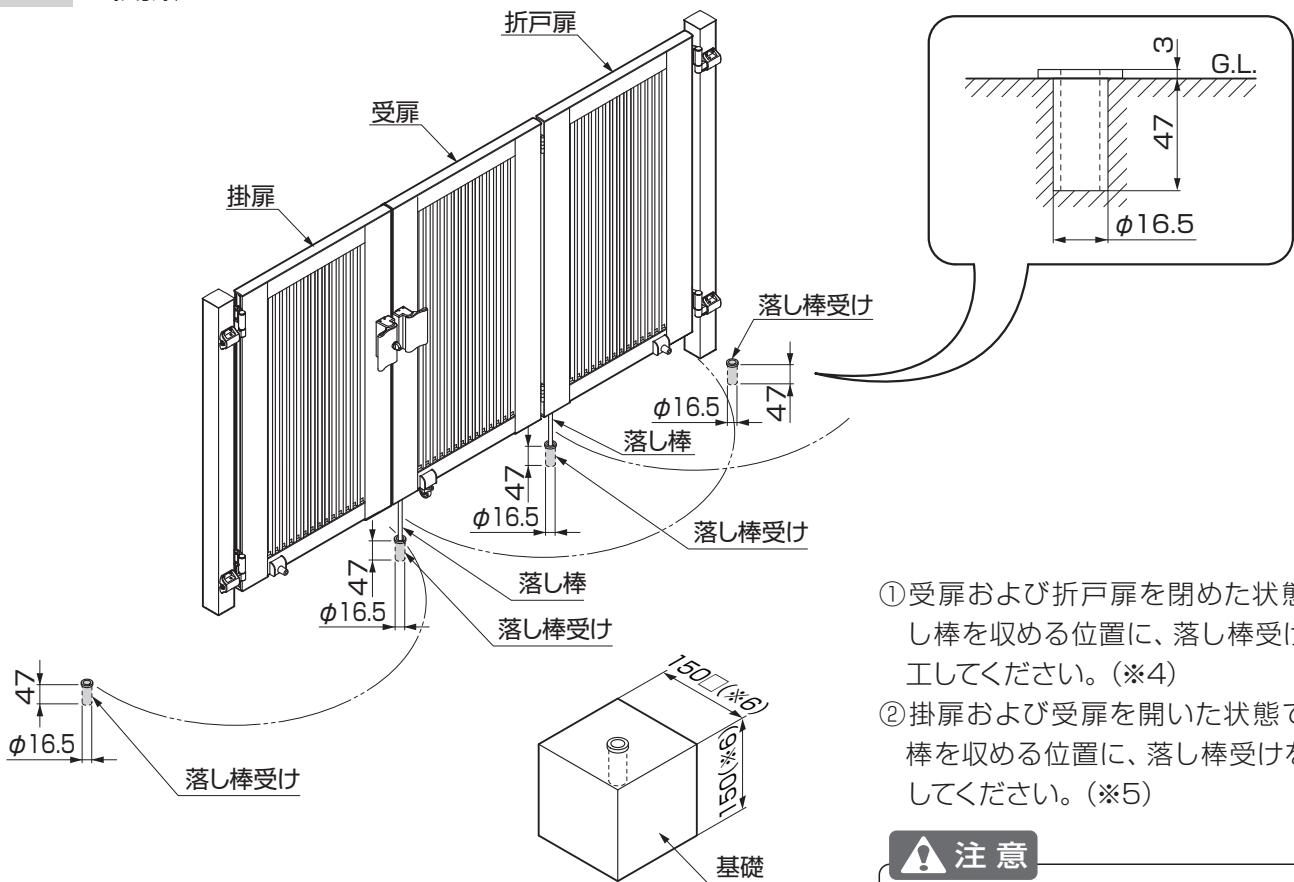
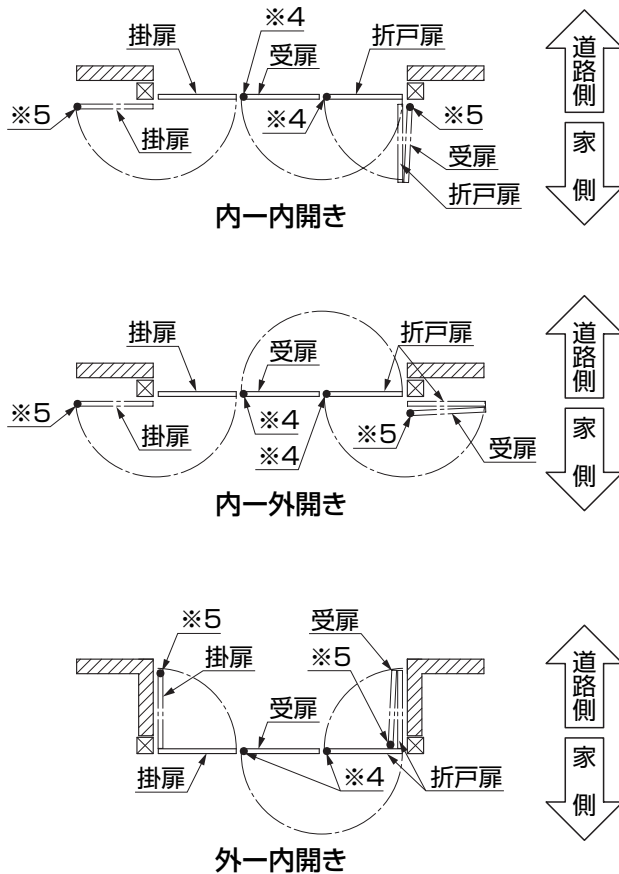


図11-2



- ① 受扉および折戸扉を閉めた状態で落とし棒を収める位置に、落とし棒受けを施工してください。(※4)
- ② 掛扉および受扉を開いた状態で落とし棒を収める位置に、落とし棒受けを施工してください。(※5)

### 注意

- ※5の位置は、必ず受扉・掛扉の落とし棒位置に合わせてください。折戸扉の落とし棒位置に合わせてと門扉の固定ができません。

### ポイント

- 落とし棒受けの埋込位置は、現場に合わせて施工してください。左図の門扉納まりは一例を示します。
- 落とし棒受けはコンクリートに埋込んでください。落とし棒受け埋込位置(※4, ※5)にコンクリートがない場合は、基礎を施工して落とし棒受けを埋込んでください。(図11-2参照)
- 基礎寸法は指定寸法以上にしてください。(※6)

### 補足

- 落とし棒は框の下面から最大180mmまで下がります。
- 落とし棒の操作方法は、門扉本体の取付説明書を参照してください。
- 全閉時、掛扉下部の落とし棒は落とす必要はありません。(全開時に使用)

